

令和4年5月12日

白門40年会

会 員 各 位

白門40年会

新 井 嘉 昭

2つの新キャンパスの利用方法案（ご報告）

- 茗荷谷キャンパス
- 駿河台キャンパス

来年（令和5年）4月にスタートする上記2つの新キャンパスについて、中央大学法曹会からの紹介がありましたので要点をご報告します。キャンパスの利用方法は、あくまでも昨年10月段階の案ですが、参考にいただければ幸いです。

□ 茗荷谷キャンパス

1. 建物の階層

地下2階、地上8階建

地上部分は、

春日通り沿いが8階建

奥側が6階建（一部4階建）

2. 春日通り側の外観

- ・ 赤レンガ

本学創立時の英吉利法律学校の伝統を模して

- ・ 白色の「石張り」と「尖塔型アーチ」

旧駿河台校舎の伝統とデザインを継承し、低層部は白門を意識して

3. 各階層

- ・ 地下2階

学研連研究室／ゼミ室等

- ・ 地下1階

大教室／中教室／購買／食堂312席／カフェテリア／

保健センター／駐車場

- ・ 地上 1 階
エントランスホール／特大教室／学修支援センター／カフェ／
郵便局／保育所／一時保育所は外側から直接出入可
春日通り沿いアーチ内連絡に、法の女神「テミス像」を設置
- ・ 地上 2～5 階
教室等
5 階の一部は屋上庭園
- ・ 地上 6～7 階
教員の個人研究室等

□ 駿河台キャンパス

1. 建物の階層
地下 1 階、地上 19 階建
2. 建物外観
縦強調デザインの縦スリット形状
低層部は石の仕上げで風格を備えた建物
3. 各階層
 - ・ 地下 1 階
倉庫等
 - ・ 地上 1 階
エントランスホール（1～2 階吹き抜け）／カフェラウンジ／
購買／出版部等
 - ・ 地上 2 階
カフェラウンジ／機械室
 - ・ 地上 3 階
機械式駐車場
 - ・ 地上 4 階
大教室（兼大会議室）／大ホール等
 - ・ 地上 5 階
模擬法廷／教室等
 - ・ 地上 6～11 階
教室／自習室／ゼミ室等
 - ・ 地上 12 階

図書室等

- ・ 地上 13 階
合同事務室／会議室／面談室／応接室等
- ・ 地上 14 階
ビジネスオープンスペース／教員個人研究室
- ・ 地上 15 階
戦略アカデミー会議室／院生研究室等
- ・ 地上 16 階
教員個人研究室／会議室等
- ・ 地上 17 階
法人事務室／会議室等
- ・ 地上 18 階
学会本部／学会会議室／南甲クラブ／体育会／
法人役員室／役員会議室等
- ・ 地上 19 階
多目的ルーム／会議室／カフェテリア

茗荷谷キャンパス整備概要

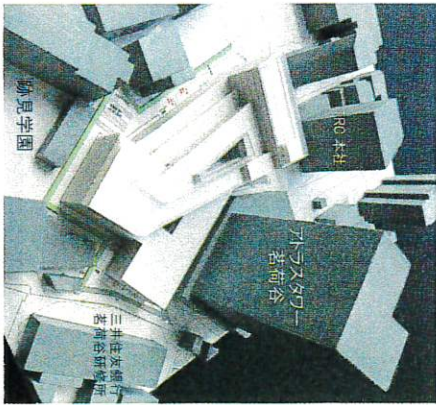


建築概要

場 所：東京都文京区大塚一丁目58番33、35、102番1～3（丸ノ内線 茗荷谷駅徒歩1分）
館内施設：法学部講義室、ゼミ室、図書室、自習室、食堂、法職講座関連施設、
学術研究団体連合会施設 他

日本郵便（郵便局） 文京区（地域コミュニケーション、一時保育所、学童保育、保育所）

敷地面積	7,254.27 m ²	階数	地上 8 階 地下 2 階
建築面積	4,998.46 m ²	着工	2020 年 7 月
延床面積	33,556.71 m ²	竣工予定	2023 年 2 月（4月開校）
建物高さ	35.0m	設計監理	株式会社 日建設計
構造	S 造、一部 SRC 造、RC 造	施工監理	清水建設株式会社



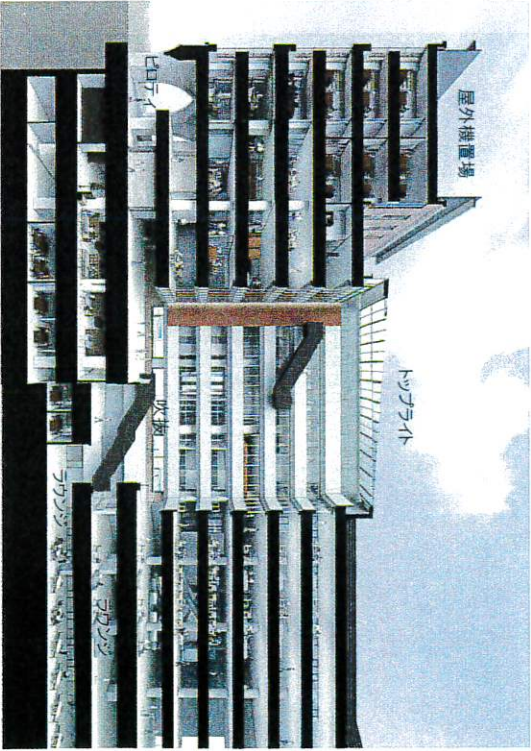
模型写真真空撮

計画主旨

本学は、2023年4月に、法学部を歴史と伝統のある、この文教の地に移転します。この施設は、新たな法学教育の拠点となるものであり、このことにより、本学は、近隣の後樂園キャンパス及びローンスクール、ビジネススクールが入る駿河台キャンパスとあわせ、法曹養成のさらなる充実を図るとともに、法学系の教育・研究と理工系の教育・研究とが有機的に連携した文理融合型のキャンパスを有することとなります。

外装は、中央大学の前身である英吉利法律学校の赤レンガ造り校舎をモチーフとして、低層階には、旧駿河台校舎と同じ尖塔型アーチを取り入れ、伝統的かつ端正な様相のなかにも、開放感のある空間としました。収容する施設は、学生や教職員にとって最適な環境となる教室・研究室のほか、地域社会における生涯学習の場として、文京区の地域活動センター、保育所、郵便局、カフェが併設されます。

本学は、この事業を通じて、高等教育機関としての社会的使命と地域社会の発展のために、引き続き貢献してまいります。

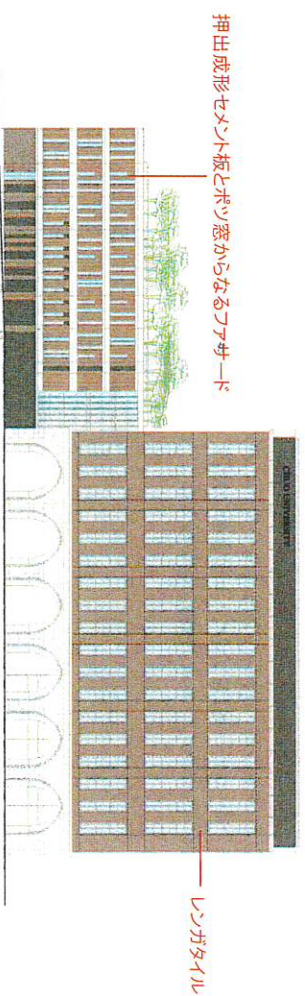


外装計画

春日通り沿いのレンガ積みの方サードは、大学と長く緑のあるイギリス法曹院（ミドルテンノール）との歴史を継承し、これからの大学の成長を促すような豊かで柔軟な教育環境の象徴です。周囲の住宅や他大学に溶け込むような低層のユニークな形状を持つこの建物は、軸性や接触面が多く、通り沿いの緑地や屋上庭園を介して、学生や近隣住民に緑豊かな空間体験を創出します。



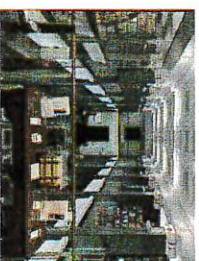
ミドルテンノールの中庭



北側立面図

内装計画

内部は、トリアライトで照らされた中央の吹き抜け空間を介して、北側の春日通りから南側の駅へリンクする計画としました。B1階の食堂や4階の図書室は、ミドルテンノールのクラシックなイメージをモダンに読み解き、学生の賑わいや勉強の場に相応しいデザインとしています。中央大学で受け継がれている建学の精神「行動する知性」という理念を伝承し、幅広い研究・教育の姿勢が育めるような空間体験の創出を目指します。



ミドルテンノールの食堂

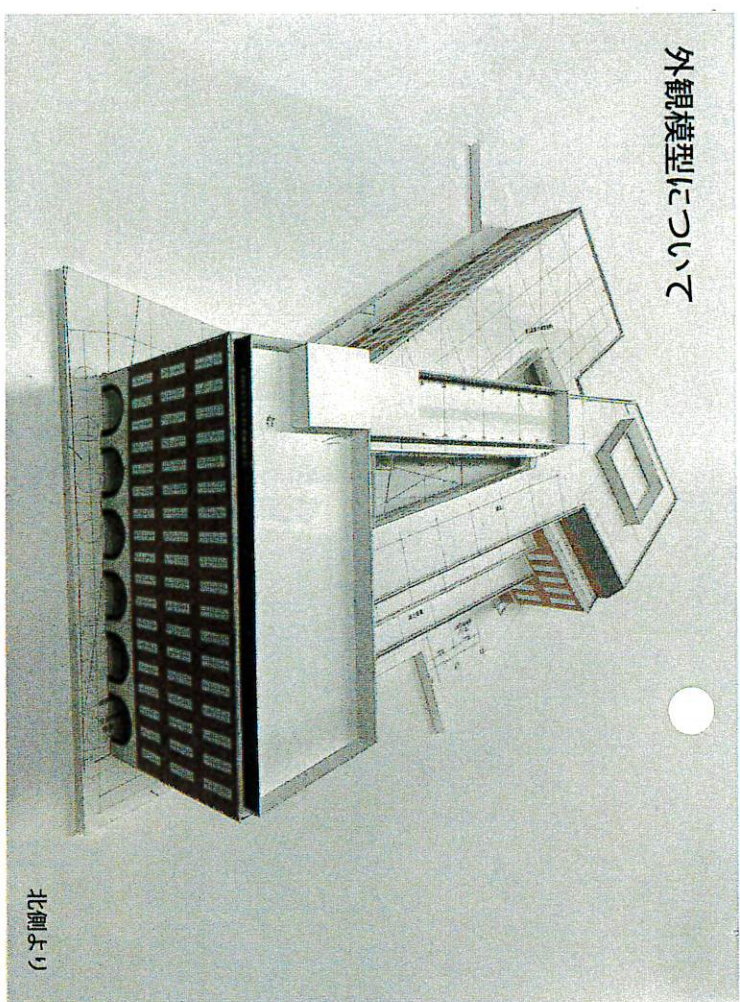


春日通り側 夜景

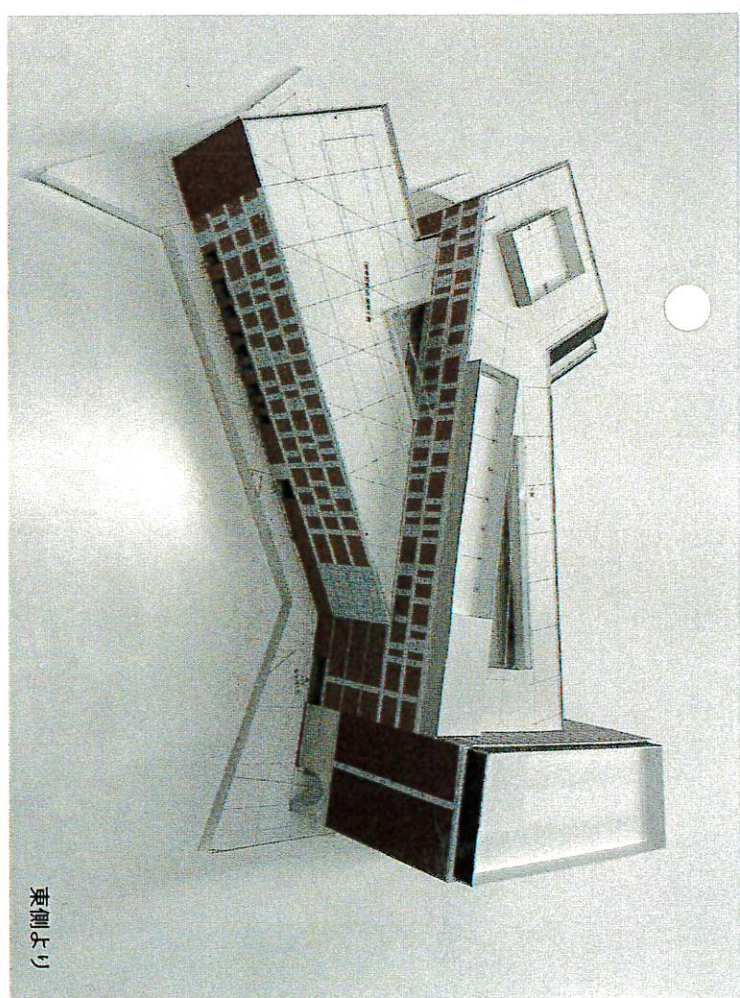


正面ピロティのイメージ

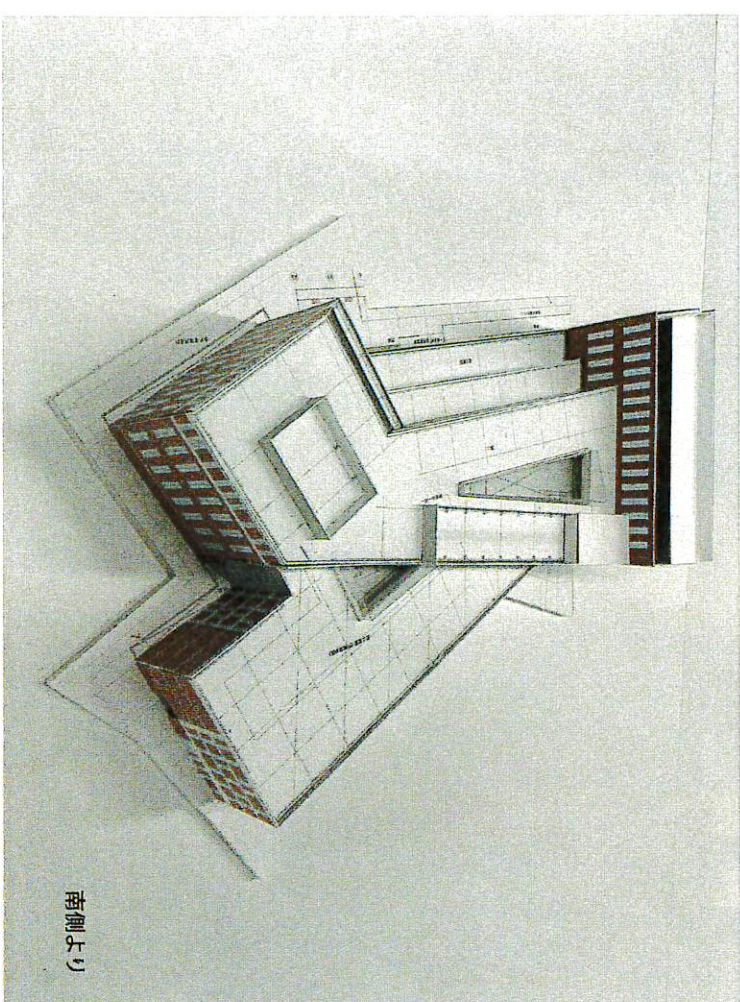
外觀模型について



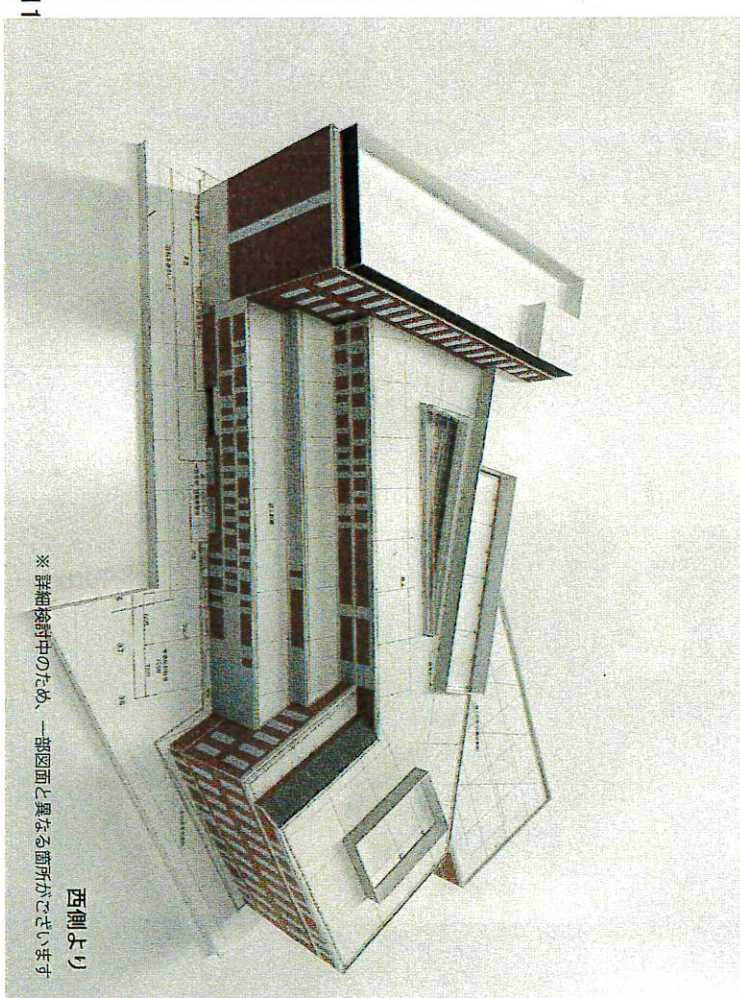
北側より



東側より



南側より



西側より

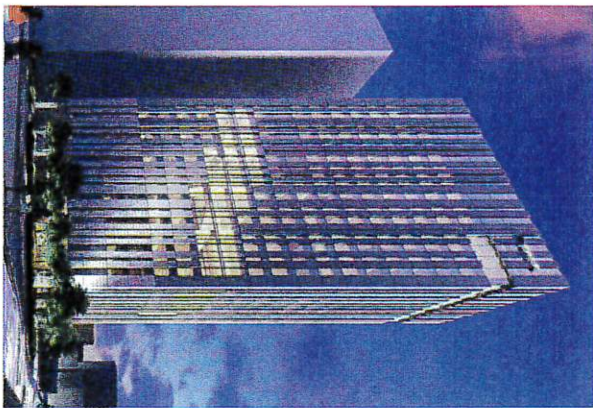
※ 詳細検討中のため、一部図面と異なる箇所がございます

駿河台キャンパス整備概要

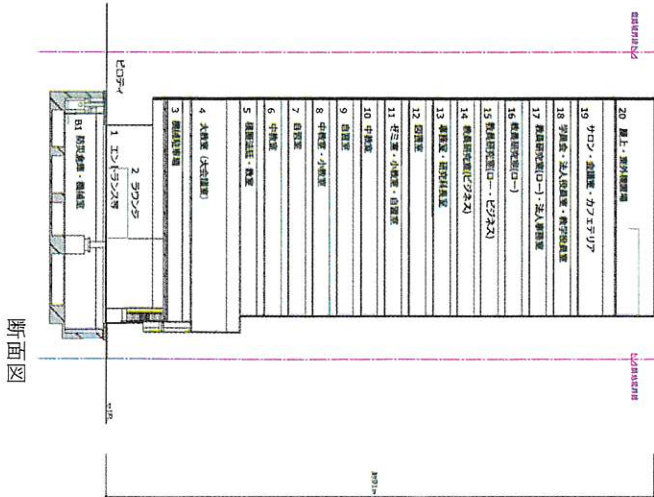
建築概要

場 所：東京都千代田区神田駿河台3-11-5（JR御茶ノ水駅 徒歩3分、丸ノ内線 御茶ノ水駅徒歩6分）
館内施設：専門職大学院法務研究科及び戦略経営研究科の教育研究施設（講義室、ゼミ室、図書室、自習室）
学会本部機能、その他現在収容されている諸機関の利用、その他、ほか全学的な利用の大会議室、サロンドなど

敷地面積	1,943.77 ㎡	階数	地上 20 階 地下 1 階
建築面積	983.14 ㎡	着工	2021 年 1 月
延床面積	15,651.91 ㎡	竣工予定	2023 年 3 月（4月開校）
建物高さ	91.38 m	設計監理	株式会社日建設計
構造	S 造一部 RC 造	施工	大成建設株式会社
免震構造			



外観イメージ（夜景）



整備主旨（計画主旨）

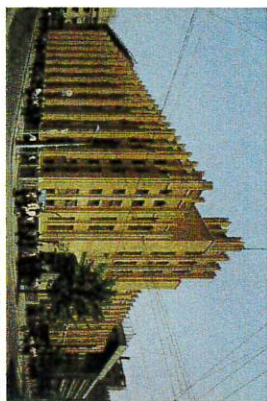
神田駿河台の地に建てられた本学の駿河台記念館は、長らく教育・研究の場として広く活用され、同時に、卒業生(学
員)や教職員の交流、そして、地域住民、一般の方への文芸・教養などの公開講座開設など、都心における本
学の多岐にわたる創造活動の拠点として、大きな役割を果たしてきました。

この度、駿河台記念館を建て替え、2023年4月に専門職大学院法務研究科および戦略経営研究科をこの地に
移転し、教育・研究施設として、全学的な利用にあわせて一層の充実を図るとともに、母校中央大学の発展と興
隆を目的に、卒業生で構成される学会本部機能も引き続き備え、これまで以上に、学生、卒業生及び教職員
が親しみ集える施設として新たに生まれ変わります。

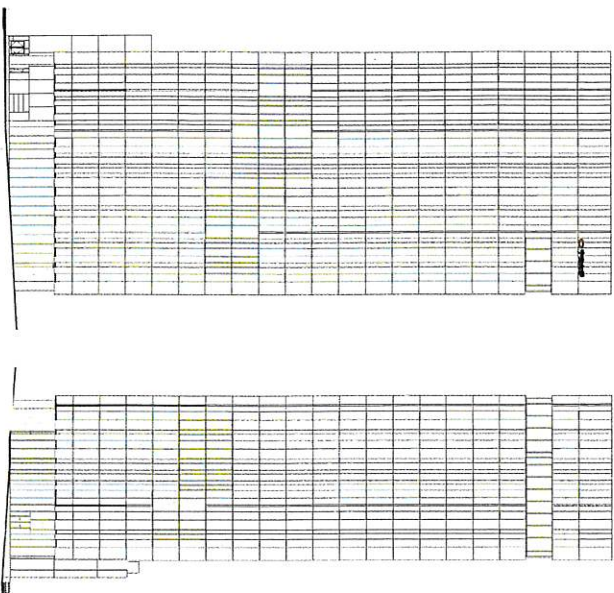
このことにより、本学は、丸の内線で繋がる近隣の後樂園キャンパス及び法学部が入る茗荷谷キャンパス（仮称）
とあわせ、法曹養成のさらなる充実を図るとともに、法学系の教育・研究と理工系の教育・研究とが有機的に連携
した文理融合型のキャンパスを有することとなります。

外装計画

菅での駿河台キャンパス旧三号館を参照し、これからの中央大学が大きく羽ばたいていくような軽やかで上昇感のある縦協調のファサードとしました。ラウンジやホール、階段の部分はガラスファサードとし学生の動きが表層に現れるような動きのある表情を目指します。



中央大学旧三号館



北側・西側立面図

内装計画

内部は、4階から10階へと続く外装沿いに回っていく階段を通して、ロースクールの学生が教室と自習室を行き来する生活の中で、室内にいながらも外を常と感じられるような空間を目指しました。御茶ノ水の景色を眺められる19階のカフェテリアでは、学生や卒業生、教職員等、様々な人が集い、交流できるような落ち着いた空間としています。



1F エントランスイメージ



19F カフェテリアイメージ

